【案】

真駒内駅前地区
景観デザインガイドライン

―目次―

●ガイドラインについて　…P3
●はじめに　…P4
【遠景】
●周辺の山並みの見通しへの配慮　…P6
・桜山のみどり～駅前通りの重層的な景観づくりに配慮する　…P6
・桜山の山並みへの見通しに配慮する　…P7
・柏丘のみどりへの見通しに配慮する　…P8
【中景】
●真駒内地域らしい豊かなみどりと調和した景観の形成　…P9
・みどりをつなぐ景観形成に配慮する　…P9
・敷地内における緑化の推進　…P11
【近景】
●開放的でにぎわいを創出する駅前にふさわしい顔づくり　…P15
・駅前空間　…P15
・にぎわいの軸　…P17
・交通広場に対する顔づくり　…P19
・乗り換え利便性に配慮した施設デザイン　…P20
●みどり豊かでゆとりある歩行者空間の確保　…P21
・歩いて楽しく快適な通りづくり・人を誘引する環境づくり　…P21
・快適でにぎわいを生む滞留空間の創出　…P23
・安心・安全の歩行空間・街区区間づくり　…P25
●品格ある街並みの形成　…P26
・真駒内らしさを表す色彩や素材の活用　…P26
・光環境等の配慮　…P27
・サイン等の配慮　…P29
・工作物等の配慮　…P30

※ホームページ再掲載にあたり、一部の記載と参考写真を非掲載としております。

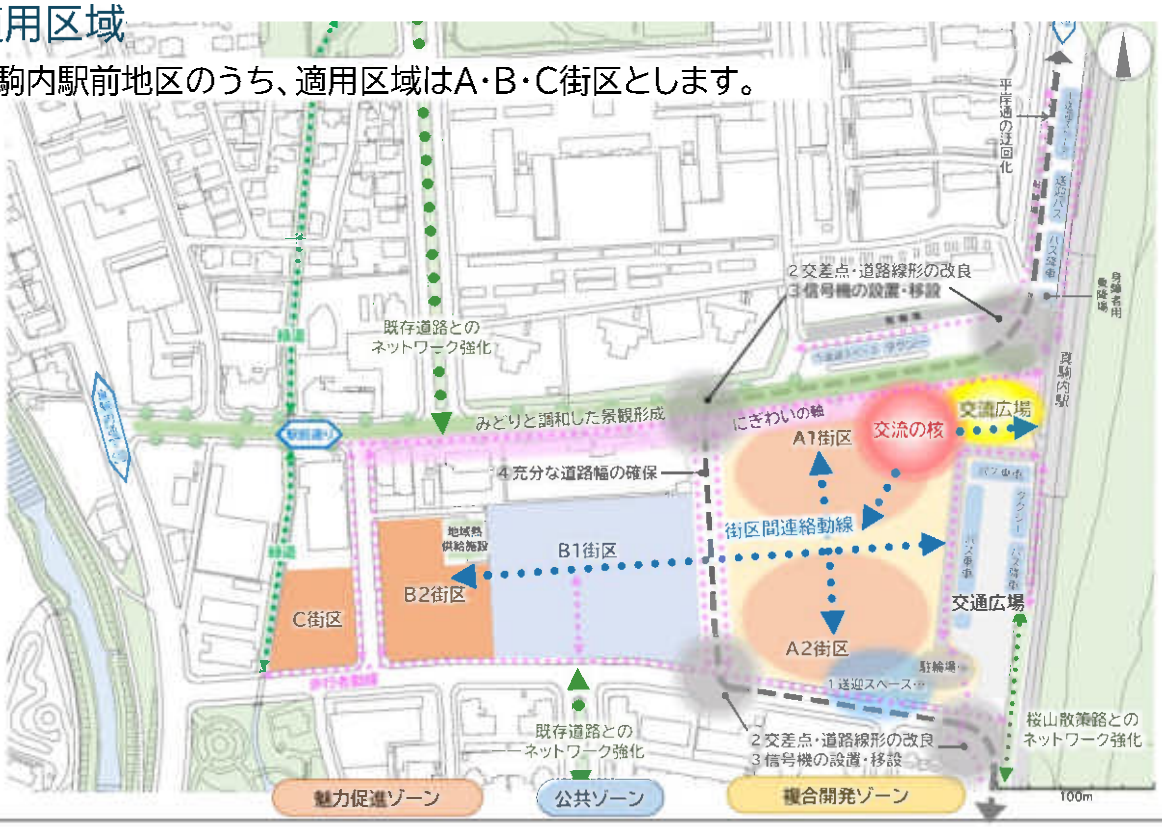
ガイドラインについて

●ガイドライン策定の目的

真駒内駅前地区では、令和5年(2023年)11月に土地利用再編の方向性を具現化する「真駒内駅前地まちづくり計画」を策定し、「まちづくりの基本方針」や「再編コンセプト」を踏まえた景観形成の考え方を示しています。
当ガイドラインは、その考え方を実現するため、実際の施設計画で配慮すべきポイントや手法例をわかりやすく伝えるために策定するものです。

●適用区域

真駒内駅前地区のうち、適用区域はA・B・C街区とします。



●構成

「真駒内駅前地区まちづくり計画」に基づき、真駒内地域らしい魅力ある都市空間の形成を目指し、遠景・中景・近景における以下の景観形成の考え方に沿って、配慮事項を整理します。

【遠景】
●周辺の山並みの見通しへの配慮
- 桜山のみどり～駅前通りの重層的な景観づくりに配慮する
- 桜山の山並みへの見通しに配慮する
- 柏丘のみどりへの見通しに配慮する

【中景】
●真駒内地域らしい豊かなみどりと調和した景観の形成
- みどりをつなぐ景観形成に配慮する
- 敷地内における緑化の推進

【近景】
●開放的でにぎわいを創出する駅前にふさわしい顔づくり
- 駅前空間
- にぎわいの軸
- 交流広場に対する顔づくり
- 交通結節点としての機能向上

【近景】
●みどり豊かでゆとりある歩行者空間の確保
- 歩いて楽しく快適な通りづくり・人を誘引する環境づくり
- 快適でにぎわいを生む滞留空間の創出
- 交通結節点としての機能向上
- 安心・安全の歩行空間・街区区間づくり

【近景】
●品格ある街並みの形成
- 真駒内らしさを表す色彩や素材の活用
- 光環境等の配慮
- サイン等の配慮
- 工作物等の配慮

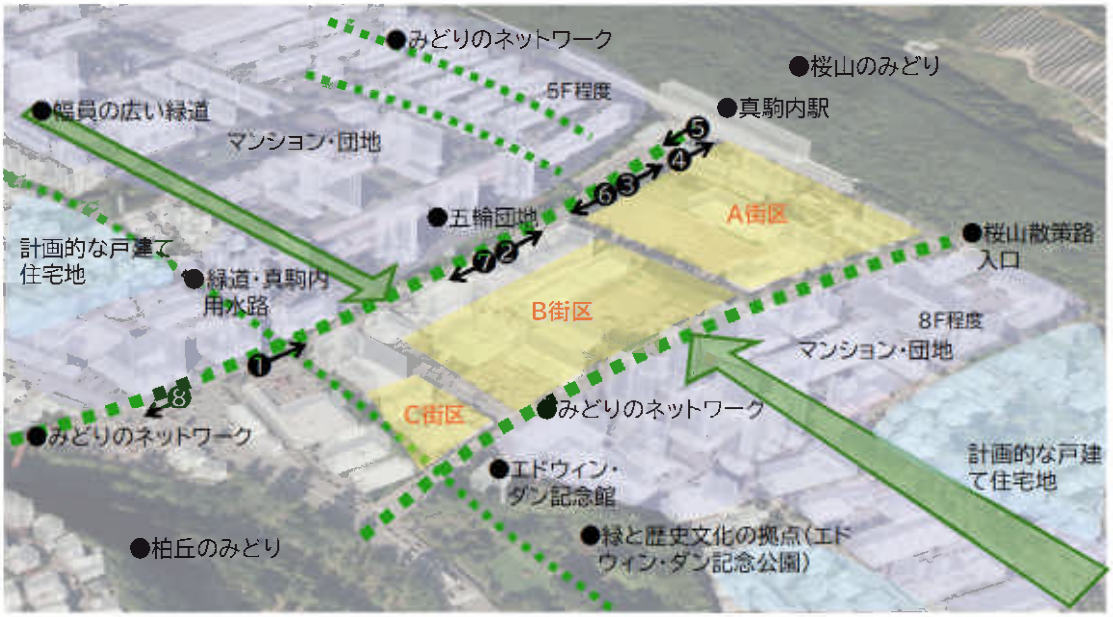
一　真駒内駅前地区の地域骨格と地域資源

本ガイドラインの対象地は、東側に桜山、西側に柏丘というボリュームのあるみどりに挟まれた特徴的な地形の中に位置しています。また、憩いの緑や水場が広がるエドウィン・ダン記念公園や周辺団地のゆとりのあるオープンスペースが配置された空間、潤い感じる真駒内用水路、みどり豊かな街路に囲まれ、品格のある街並みが形成されています。

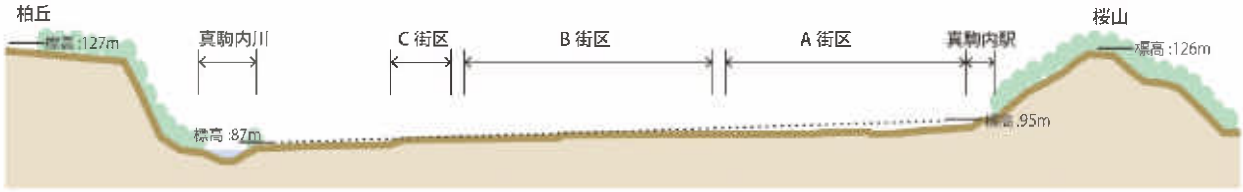
●地域骨格

※建築物のボリュームに関する現状

- 真駒内駅前周辺には、マンションや公営住宅など比較的大きなボリューム建物が立地しているものの、階高は11階程度に抑えられており、その周りは計画的に造成された戸建て住宅地となっています。

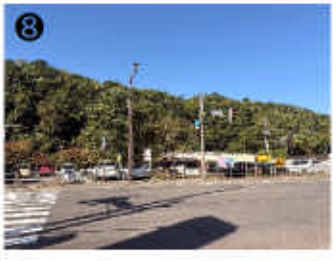


※出典：国土交通省 PLATEAUウェブサイトを加工して作成



【駅前通りから見た桜山のみどり】

【駅前通りから見た柏丘のみどり】



●地域資源

❶みどりの結節点

❷五輪団地

❸五輪団地のみどり

❹時計塔

❺柏丘のみどり

❻真駒内用水路

❼緑のネットワーク

❽桜山の緑

❾エドウィン・ダン記念公園

❿エドウィン・ダン記念館

⓫緑道

⓬桜山

遠景 中景 近景

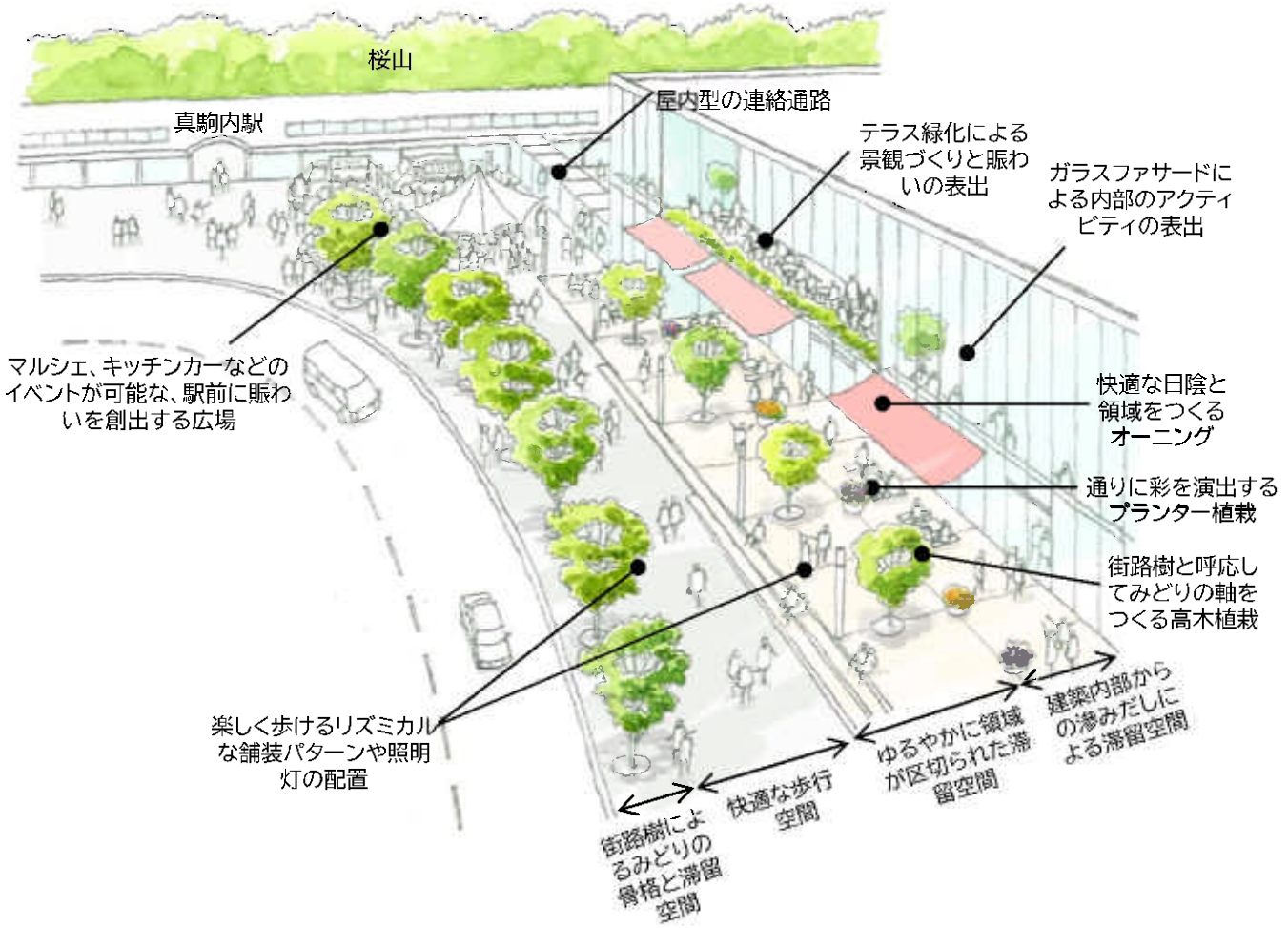
― 桜山のみどり～駅前通りの重層的な景観づくりに配慮する

【ポイント】

- 桜山のみどり～真駒内駅～交流広場のにぎわい～駅前通りからなる重層的な景観による真駒内駅前の顔づくりに配慮します。

【手法例】

●駅前通りや交流広場のにぎわいの背景に、真駒内駅、桜山のみどりを重層的に見せる景観づくりに配慮し計画する。
●南区の玄関口にふさわしい空間となるよう、みどりや花で彩るなどおもてなしの空間づくりに配慮し計画する。



遠景

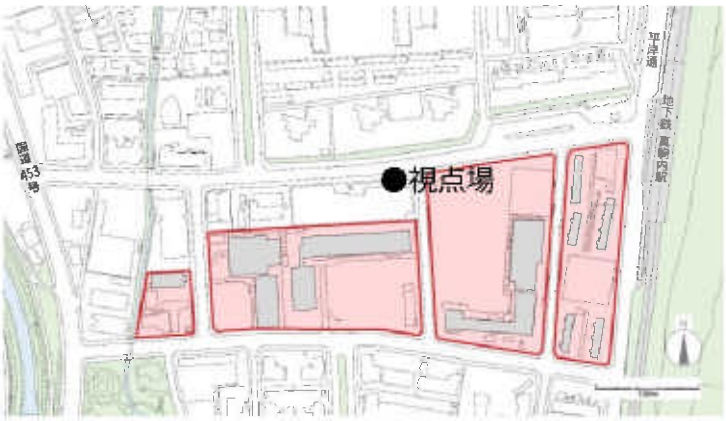
ー 桜山の山並みの見通しに配慮する

【ポイント】

- 駅前通りからの桜山の山並みの見通しを確保するため、建物のボリュームや配置に配慮します。

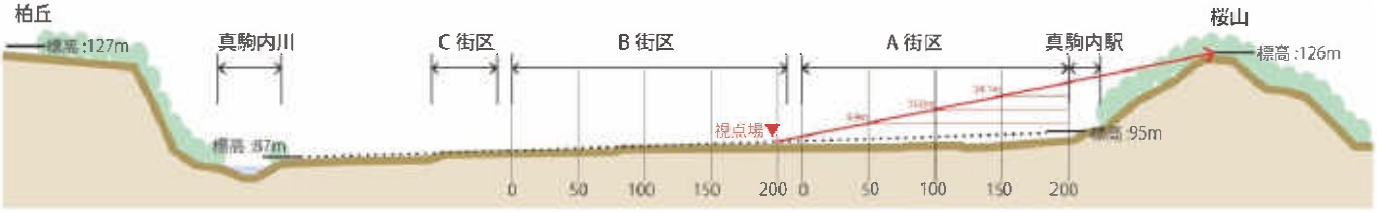
【手法例】

●下記のシミュレーションを参考に、建物の高さを抑える、建物の壁面を後退させる、建物の壁面後退に加えて高層部分のセットバックを組み合わせるなど、駅前通りから東側(真駒内駅側)を眺めた際の、桜山の山並みの見通しに配慮して建築物を検討する。なお、下記に示す視点場は参考例であるため、複数の視点場からの見え方や移動に伴う見え方の変化を考慮し検討する。



視点場の位置図(参考例)

同視点場からの現況写真



※建物の高さを抑えたパターン

※建物の壁面後退に加えて高層部分のセットバックを組み合わせたパターン

※建物の壁面を後退させたパターン

※この参考シミュレーションは、より完成度を高めていく予定です。

遠景

ー 柏丘のみどりへの見通しに配慮する

【ポイント】

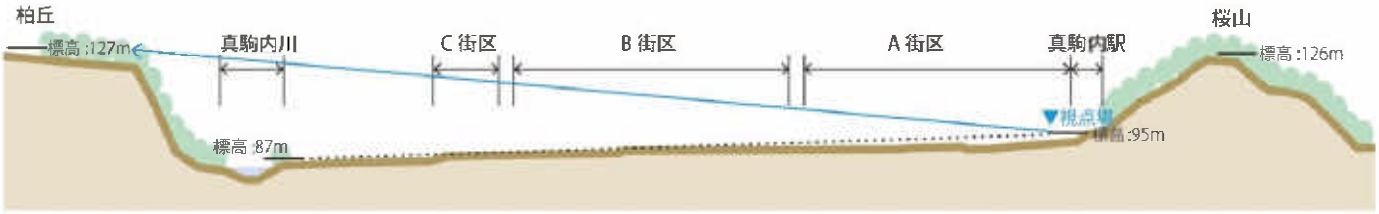
- 真駒内駅前から西側(柏丘側)を眺めた時に、空の広がりや開放感が感じられる、圧迫感のない景観づくりに配慮します。

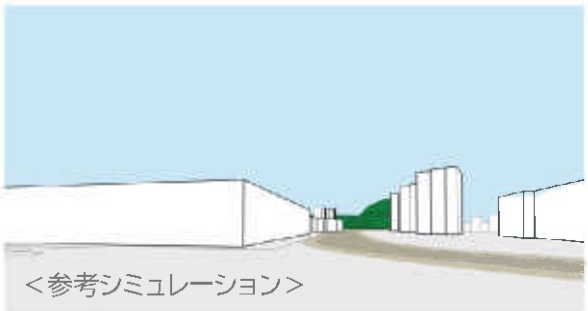
【手法例】

●駅前通りや交流広場に対して建物の高さを抑える、建物の壁面を後退させる、建物の壁面後退に加えて高層部分のセットバックを組み合わせるなど、駅前から見た時に柏丘のみどりへの見通しが確保されるなど、空の広がりや開放感が感じられる圧迫感のない景観づくりに配慮し計画する。なお、下記に示す視点場は参考例であるため、複数の視点場からの見え方や移動に伴う見え方の変化を考慮し検討する。

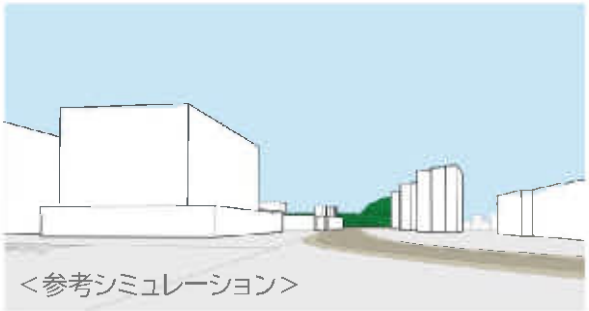
視点場の位置図(参考例)

同視点場からの現況写真

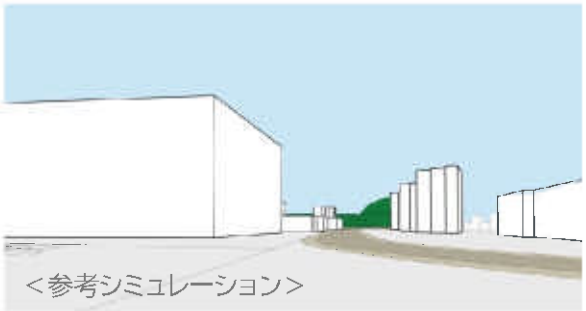




※建物の高さを抑えたパターン



※建物の壁面後退に加えて高層部分のセットバックを組み合わせたパターン



※建物の壁面を後退させたパターン

中景

ー みどりをつなぐ景観形成に配慮する

【ポイント】

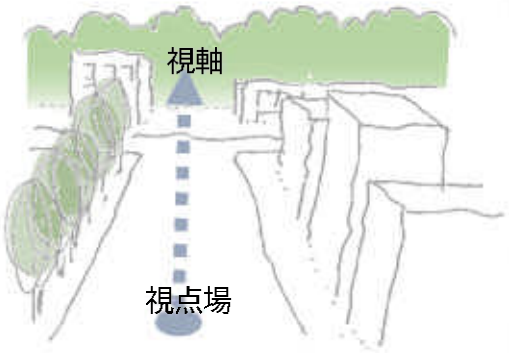
- 桜山や柏丘の南北に走るボリュームのあるリニアなみどり(※)に挟まれた敷地であることを踏まえ、そのみどりの見え方を考慮した建物の配置やボリューム等に配慮します。
- 対象地周辺のみどりのネットワークを、受け止め、引き込み、活かし、つなぐような広場・通り・みどりづくりに配慮します。
- 公園や緑道、用水路、エドウィン・ダン記念公園など、地域固有のみどりの資源を活かした空間デザイン、資源に誘導する見せ方・つなぎ方などきめ細やかな環境デザインに配慮します。

※リニアなみどりとは・・・横に広がる線状の緑地帯

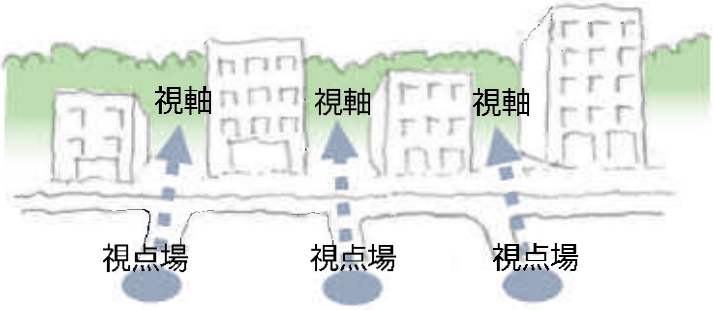
【手法例】

●リニアなみどりへの視点場と視軸を考慮した、建物配置やボリューム設定とする

・みどりへのビスタ(※)を強調する



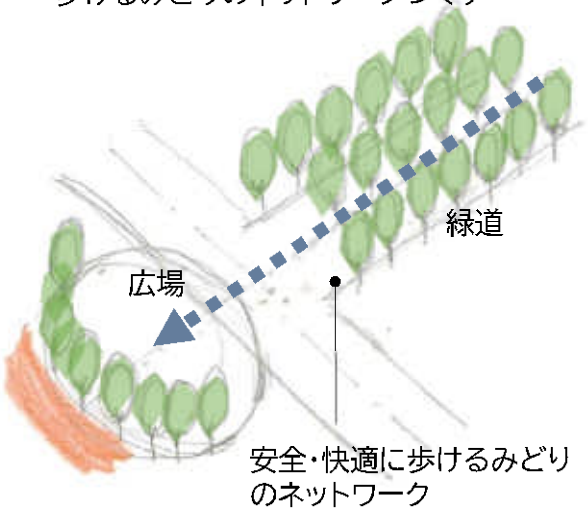
・みどりへの抜けをつくる建物配置と視点場づくり



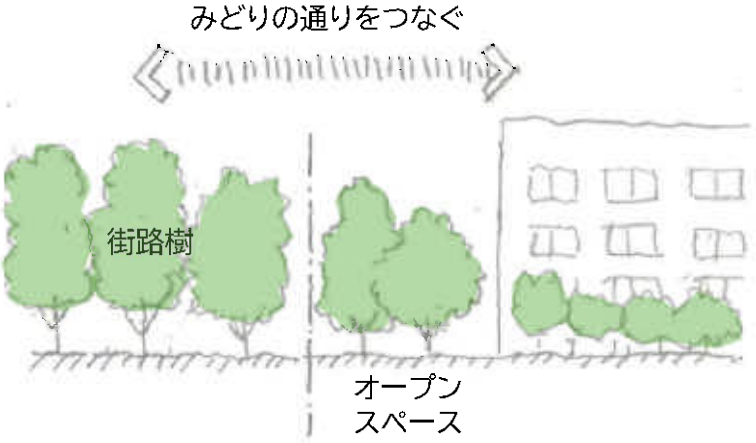
※ビスタとは・・・並木や建築物等によって両側を挟まれた、直線的で奥行感のある見通しのこと

●周辺のみどりのネットワークを受け止めてつなぐオープンスペースの配置とみどりづくりに配慮し計画する。

・みどりの軸を受け止める広場や安全・快適に歩けるみどりのネットワークづくり



・みどりの軸を敷地内に引き込み、つなぐオープンスペースや通りづくり



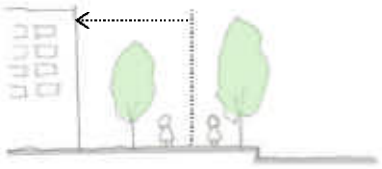
中景

ー みどりをつなぐ景観形成に配慮する

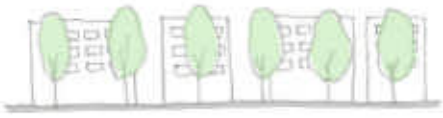
【手法例】

●周辺の並木を活かす建築デザイン

- 街路樹の並木と呼応するセミパブリック空間やファサードデザインとする。
- 建物を壁面後退させ、並木と呼応するように民地側も緑化することで、みどり豊かな空間を創出できる。

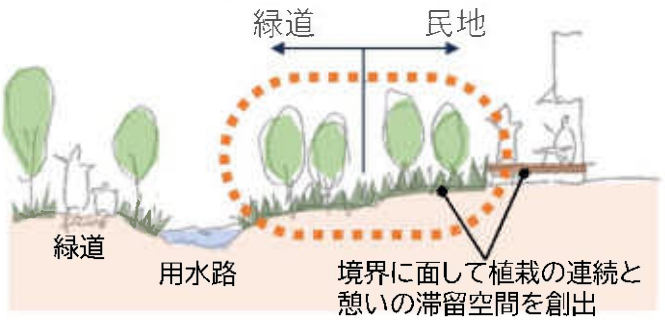


- 並木沿いの建物の壁面線やファサードデザインを揃えることで、並木が映える街並みづくりができる。

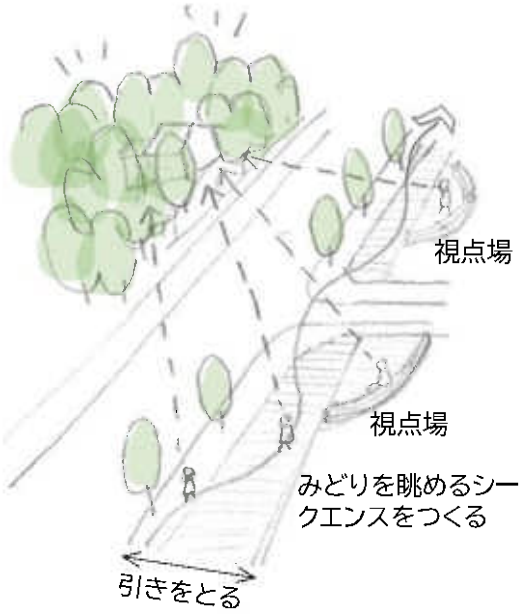


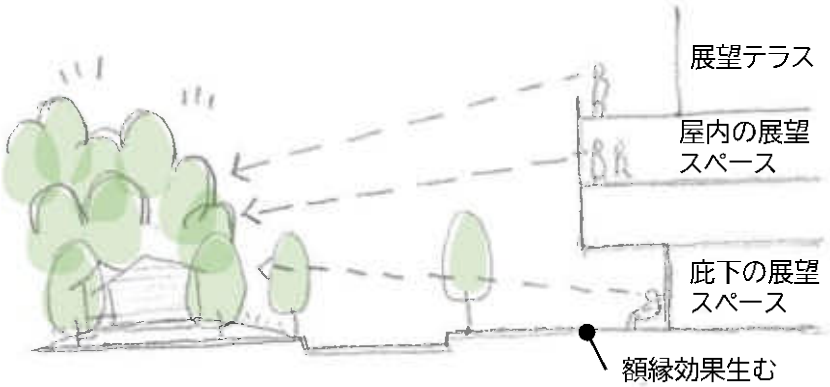
●隣接する用水路のみどりなどを取り込み活かす

隣接する用水路のみどりを取り込むランドスケープデザイン



●桜山や緑道、公園などのみどりのボリュームやエドウィン・ダン記念館などの景観資源を眺めることのできる視点場づくりや見え方のシークエンスに配慮したデザインとする。





※シークエンスとは・・・見える景観が徐々に変化する構成のこと。人が移動する中で、様々な印象的な景観を創出することができる。
※額縁効果とは・・・周囲の構造物・植栽などで視界を囲い、景観を際立たせる効果。

中景

ー 敷地内における緑化の推進

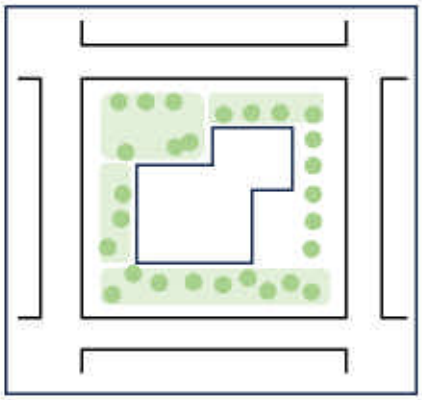
【ポイント】

- 真駒内駅前周辺は、ゆとりあるオープンスペースが配置された豊かなみどりの空間が魅力であることから、街区内にゆとりあるオープンスペースを確保し、ボリュームのあるみどりづくりを行うなど、真駒内のイメージ価値を高めるよう配慮する。
- 植栽計画は将来を見据えた計画とし、みどりの効果や状況に応じた樹種等の選定や配置計画を行うなど、質の高いみどりづくりに配慮する。
- 周辺のみどりの状況を考慮し、地域を特徴づけるみどりを積極的に取り入れるなど真駒内らしさを演出する。

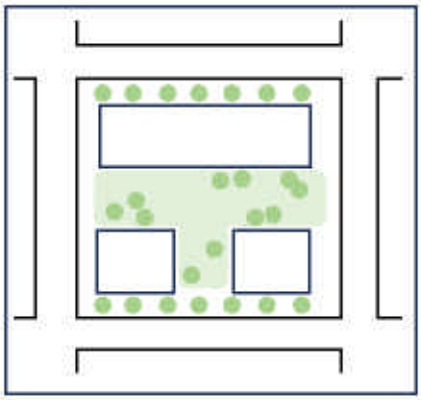
【手法例】

●みどり豊かな歩行空間づくりに配慮しつつ、建物の配置の仕方に応じたオープンスペースを確保し緑化する

周囲に広いオープンスペースを設けて緑化する

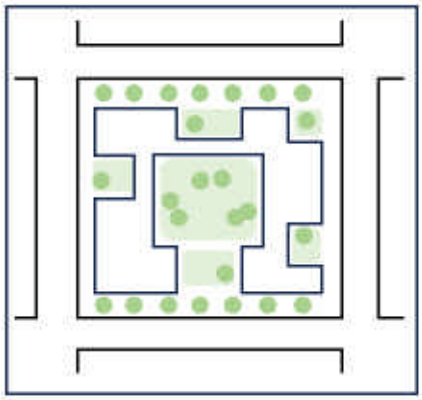


分棟配置により街区内にオープンスペースを設けて緑化する



※通りに対してもみどりを配置する

中庭やアルコーブをつくったり、辻空間を活かして緑化する



※通りに対してもみどりを配置する

＜ゆとりあるオープンスペースが配置された真駒内駅前周辺＞

中景

ー 敷地内における緑化の推進

【手法例】

●みどりの効果を発揮する環境デザイン

木陰の憩いの空間がつながる、快適な歩行環境づくり

遊ぶ、休む、くつろぐ等使える緑地をつくる

季節の彩りを創出する

花や果実のなる樹種や、多様な色彩や香りの良い植栽により、季節の変化を創出する。花は一年草と宿根草を組み合わせ、季節の変化による彩りに多様性を創出する。

地域を特徴づけるみどりを積極的に取り入れる

●周辺のみどりの現状
- ▸街路樹：イチョウ、シラカバ、ヤマモミジなど
- ▸自然植生：コナラ、ミズナラ、エゾイタヤなど
- ▸花：ラベンダー、カタクリなど

●緑視効果を高める

- 人の目に見える立面的なみどりを創出することで、歩行者がみどりを感じながら快適に散策を楽しんだり、居心地の良さを感じるなど、心理的・生理的効果による安らぎを与えることができる

立体的なみどりづくり

低・中・高木や樹形の異なる樹木、地被類などを組み合わせた植栽計画とし、立体感のあるみどりづくり

壁面緑化なども場所によっては効果的

効果

緑視率が 25%以上になると、「みどりが多い」と感じる人の割合が高くなる傾向。緑視率が高まるにつれ、「うるおい感」、「安らぎ感」、「さわやか感」などの心理的効果が向上する傾向。
出典：「都市の緑量と心理的効果の相関関係の社会実験調査について」

中景

― 敷地内における緑化の推進

【手法例】

●見通しを確保したい・遮蔽したいなど状況に応じた樹種等の選定や設えのデザイン

見通しを確保したい場合は、見通しを遮る低い位置に下枝が少ない樹種や、枝や葉が密集しにくい樹種を選定し見通しを確保する。

目隠しとして植栽を設けたい場合には、下枝が張り、密な枝葉の樹種を選ぶと効果的。

●屋内空間を活用した重層的なみどりのネットワークづくり

屋内の緑化空間の例

●バランスのよいみどりの配置

オープンスペースの規模や使い方を考慮しながら、バランスの良いみどりの配置を行うことで空間の質を高める。
樹種や植栽間隔を検討する際は将来の成長を見越した計画とする。

憩いの中庭空間

通り沿いの憩い空間

散策を楽しめる緑地

中景

一　敷地内における緑化の推進

【手法例】

●街路樹等も考慮した一体的なみどりの街路空間づくり

公共のみどりと民地のみどりによるみどり豊かな街路空間

街路樹のみどりと連動して設置された民間施設のプランター

●プランターやストリートファニチャー植桝を活用した彩りづくり

●通路に面した外構を適切に維持管理する

まちの印象低下に繋がらないよう、道路に面した外構部分は適切に維持管理を行う。

植栽等を適切に維持管理している例

近景

一　駅前空間

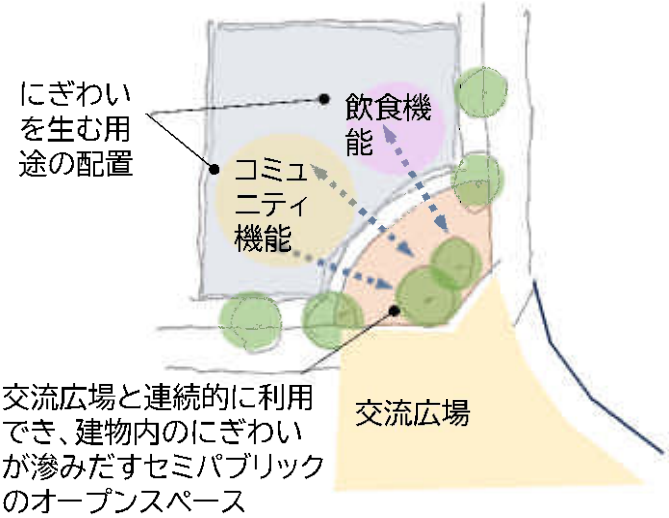
【ポイント】

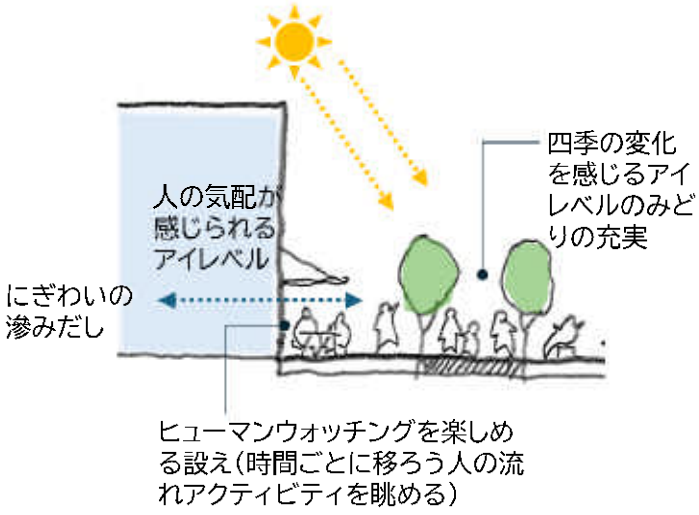
- 人々の滞留や交流を促し、イベントの開催など多様な使い方ができる空間・にぎわいの創出に配慮します。

【手法例】

●交流広場に連続させて滞留できるオープンスペース（セミパブリック空間）を配置したり、 オープンスペース側ににぎわいを生む用途を配置する。

●子どもから高齢者までの多世代が集まり、四季を通して交流・にぎわいが生まれるコミュニティ機能を配置する。





オープンスペースとにぎわい機能が隣接した例

真駒内地区ふれあい「雪あかり」の様子

時計塔のイルミネーション

室内のにぎわいが外部から望める設え

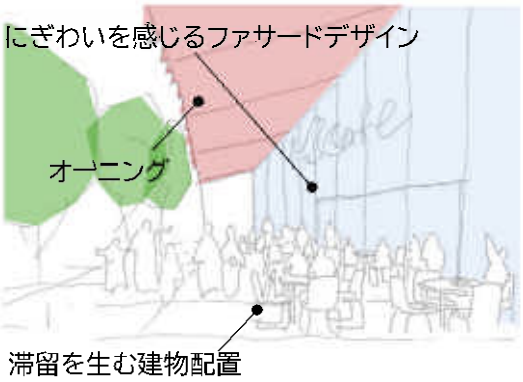
近景

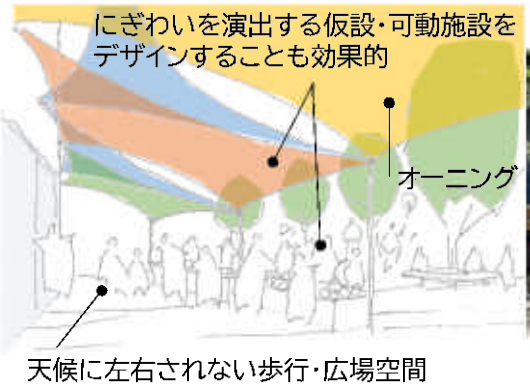
一 駅前空間

【手法例】

●広場や通りに対してにぎわいを感じるファサードデザインや滞留空間の設えとする

- 建物のファサードは交流広場等に向けて開放的なガラス面や出入口、滞留空間を設ける等して、建物内部の活動が見通せ、広場や駅前通りににぎわいが滲み出す設えとする。

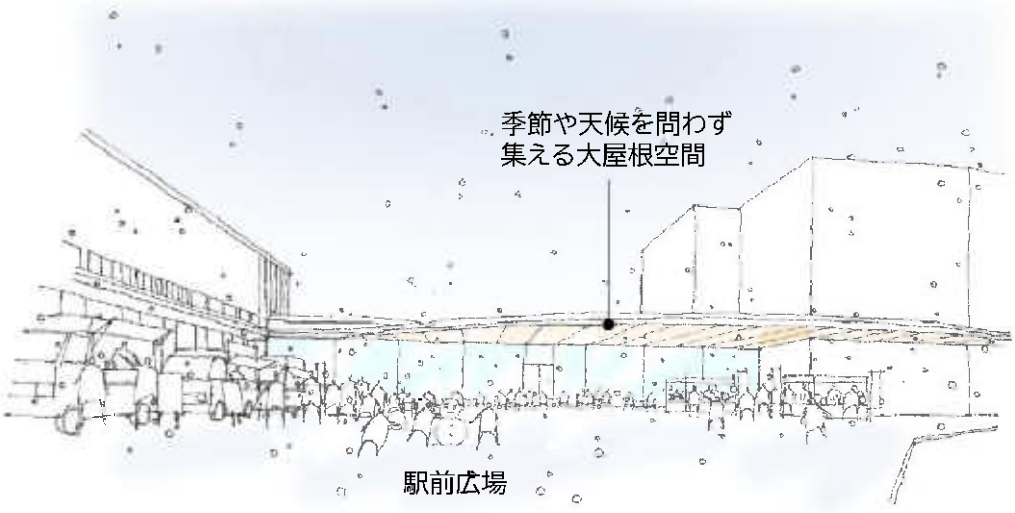




開放的なファサードが連なる通り（丸の内仲通り）

●四季を通して人々が集いにぎわいが生まれる空間とする

- 駅前広場に大屋根空間を配置するなど、季節や天候を問わず人々が集いにぎわいが生まれる設えとする。



●雪で遊び雪に親しむことができる空間を配置する

●歴史の継承となる既存樹木等を活用し、印象的な駅前空間を演出する

近景

ー にぎわいの軸

【ポイント】

- ヒューマンスケールやリズミカルな景観づくりに配慮し楽しくにぎわいを感じる通りづくりに配慮します。
- 建物内外の一体性や連続性に配慮し、通り沿いににぎわい機能を連続させたり、滞留空間を点在させるなど、人々が行き交い交流が生まれる設えに配慮します。
- にぎわいの軸から繋がる通り（A街区とB街区の間の通り）にも、にぎわいが繋がる裏側感のない設えに配慮します。

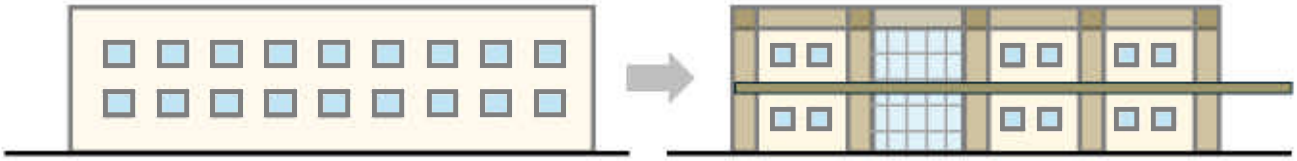
【手法例】

●ヒューマンスケールな景観づくり

- 歩行者への圧迫感を軽減するよう、道路に面して長大で単調なデザインは避ける。

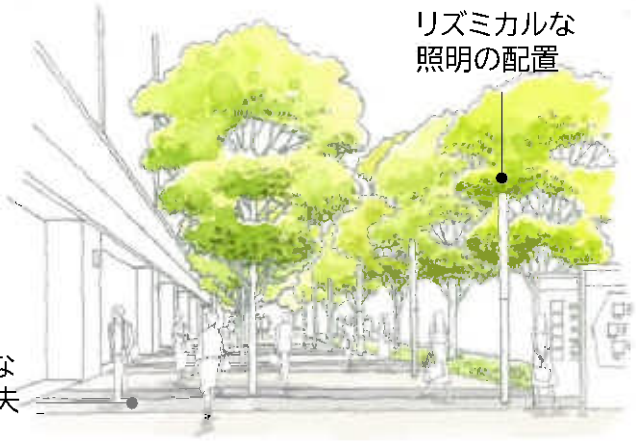
単調で長大感を感じるデザイン

ファサードデザインを分節して長大感を軽減したり、柱や梁、軒、庇等のデザインにより、ヒューマンスケールに配慮したデザイン



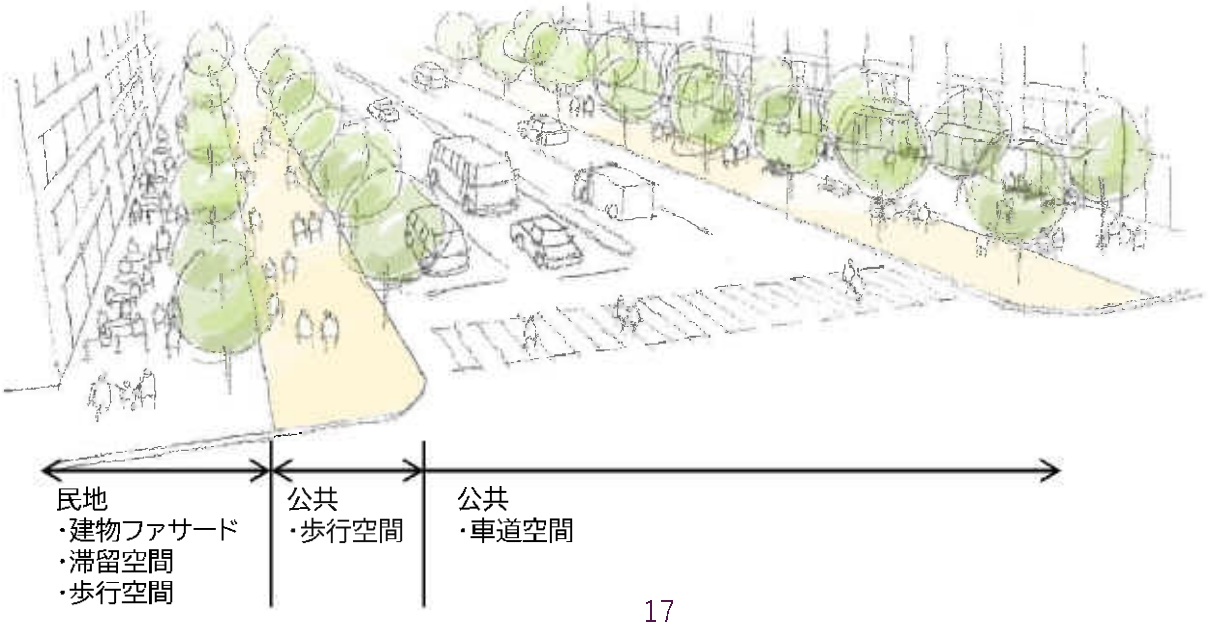
●リズミカルな景観づくりに配慮して楽しく歩ける通りをつくる

- ファサードデザイン、舗装デザイン、工作物・ストリートファーニチャーや樹木の配置により、リズム感のある通りづくりを行うことで、楽しく歩ける・歩きたくなる通りづくりに配慮する。



●一体感のあるデザインに配慮する

・ 公共空間の設えや色彩等周辺の状況も考慮し、舗装や植栽などの選定において、一体感のあるデザインとする。



近景

ー にぎわいの軸

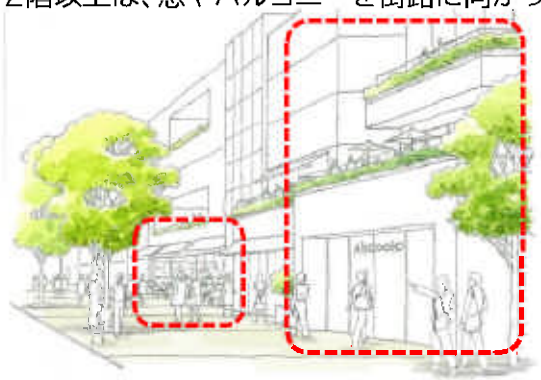
【手法例】

●通り沿いの低層部は人々が屋内外を行き交い、回遊を促す歩いて楽しい機能・設えを連続させる

- 周辺の居住環境に配慮しつつ、沿道の1階部分には、にぎわい機能（カフェや商業施設等）を連続的に配置する

●建物内のにぎわいが通りに滲みだすようなデザインとする

- 建物低層階は、開口部（透明なガラス窓、ガラスの入口など）の面積を大きく取る。
- 建物内のにぎわい機能を、街路に沿って配置する。
- 2階以上は、窓やバルコニーを街路に向かって設ける。



●歩行空間と沿道敷地が一体となったセミパブリック空間の確保

- 通りに面した滞留・休憩スペースの確保によるにぎわいの連続性の創出。駅前広場や歩道と沿道敷地をシームレスにつなぎ、一体的な歩行空間や開放されたセミパブリック空間を確保することで、開放的な印象を創出する。

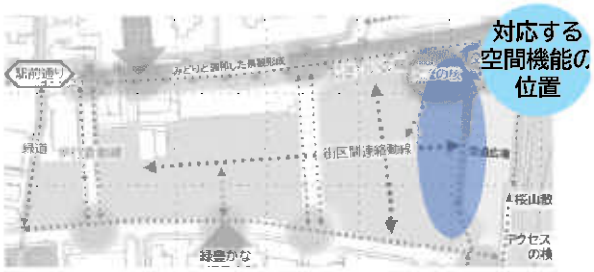
- 沿道敷地への小広場の設置等により、地域住民の憩い・活動の場、エリアマネジメントや地域住民が活用できる空間、イベント時におけるおもてなし空間を創出することで、街角に表情が生まれる。

近景

ー 交通広場に対する顔づくり

【ポイント】

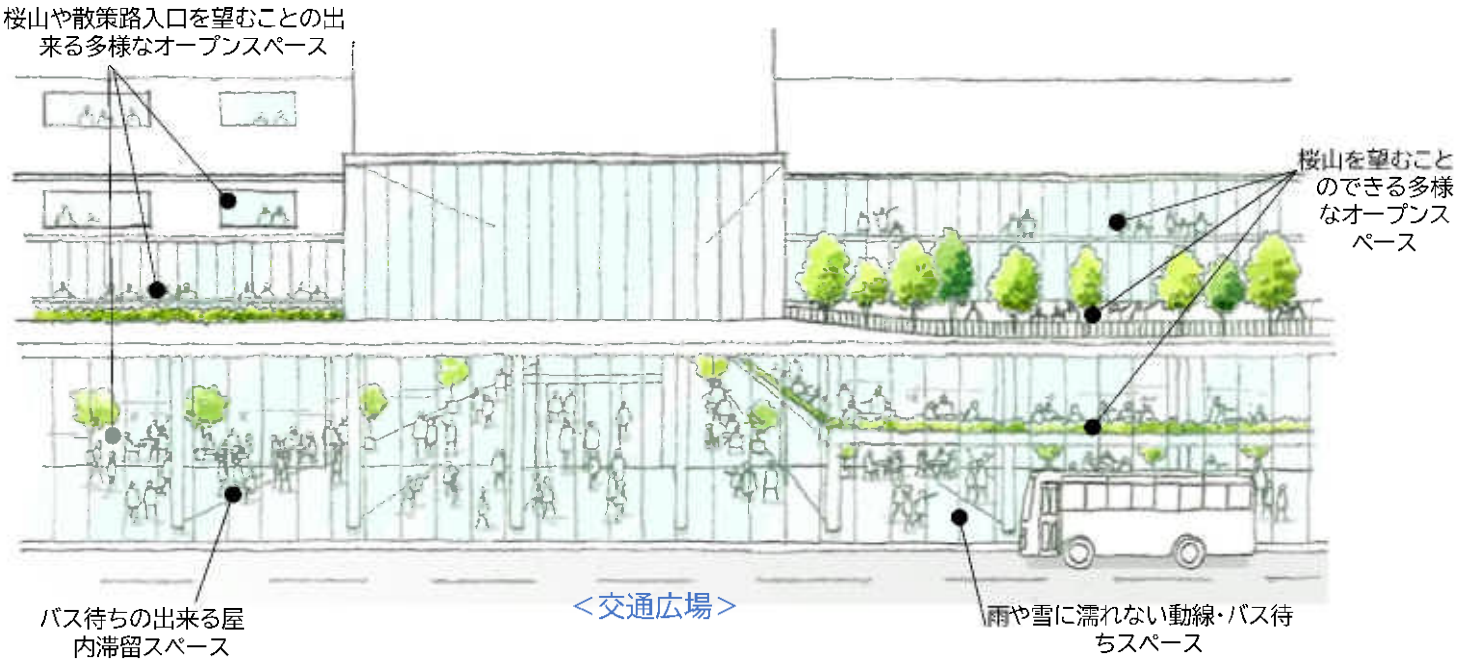
- 交通広場からも街区内のにぎわいを感じられるよう、建物低層部は中のアクティビティが表出するような設えに配慮します。
- 桜山への新たな視点場となる空間の創出に努めるよう配慮します。



【手法例】

●交通広場からにぎわいが感じられるような設えとする

・ 交通広場に隣接した屋内空間により快適な環境を形成する。
・ 交通広場に面した場所には屋内でバス待ちができるオープンスペースのほか、桜山のみどりや、散策路入口を望むことの出来る屋内外の多様なオープンスペースを配置する。



にぎわいを感じる交通広場イメージ

雨や雪に濡れないバス待ちスペース

近景

ー 乗り換え利便性に配慮した施設デザイン

【ポイント】

- 地下鉄真駒内駅と南区各地を結ぶバスなどへの乗り換えの利便性や快適性の向上に配慮します。
- 四季や天候、時間の変化に配慮した配置・空間・仕様とします。
- 真駒内駅から交通広場、街区施設までの動線は、天候に左右されずに快適に移動ができるような動線ネットワークの形成に配慮します。

【手法例】

●交通の乗り換えや歩行の利便性を高める

- 歩行の快適性や回遊性の向上に加え、地下鉄真駒内駅とバスやタクシー等への乗換えが、雨天などでも濡れずにスムーズに出来るような動線の確保を図る
- シェルター等の適切な配置や建物外部に庇等の張り出しを誘導することにより、雨天時の乗換えや歩行の利便性の向上を図る

屋内空間を通って移動できる動線（真駒内駅前地区まちづくり計画より）

建物外側に通路を設けた例

●誰にでも分かりやすいサイン計画とする

- 計画施設からバスやタクシー等の乗り場へスムーズに人を誘導するサインの配置やデザイン、多言語化などにより、誰にでも分かりやすいサイン計画とする。

●利便性と快適性が高い待合スペースの確保を図る

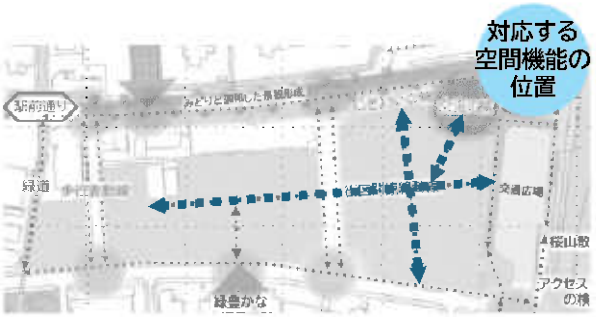
- バスやタクシー乗り場に近接する建物では、乗り場を見通せる1階部分などに、真駒内らしい風景が感じられる居心地の良い待合スペースなどを計画する。

― 歩いて楽しく快適な通りづくり・人を誘引する環境づくり

近景

【ポイント】

- 多世代が歩くことを楽しむことができる仕掛けを検討し、真駒内駅から街区間の周遊につながるよう配慮します。
- 街区間連絡動線と滞留空間や広場など人が集まる場所、集めたい場所との関係性を考慮します。
- 街区間連絡動線は、通年で安全かつ快適に歩けるような設えとするよう配慮します。
- 街区間連絡動線は、四季や天候、時間の変化を考慮した配置・空間・仕様とするよう配慮します。



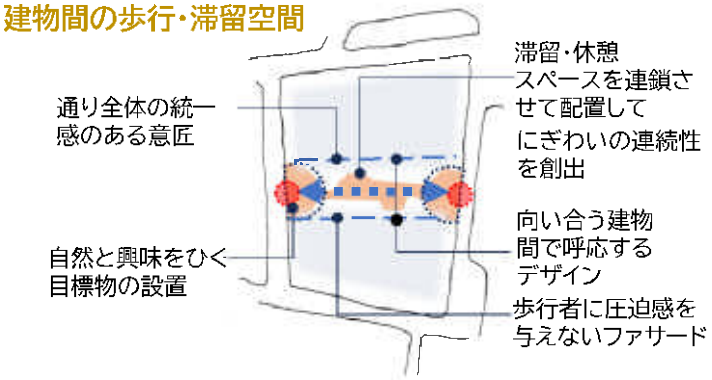
※A街区やB街区の快適な移動をイメージした図であり、この位置に動線を設置する意図ではありません。

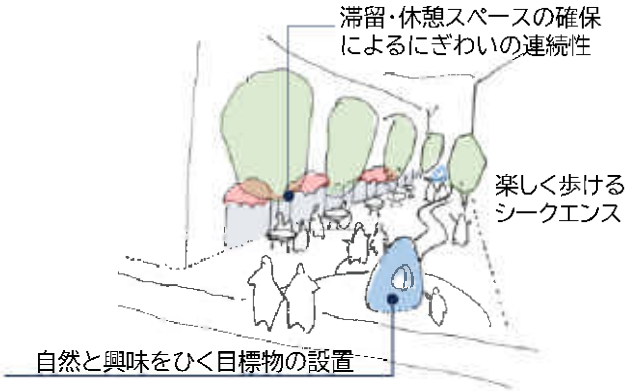
【手法例】

●滞留空間の連鎖や中庭等で奥行のあるまちを演出し、人々の回遊を引き出す

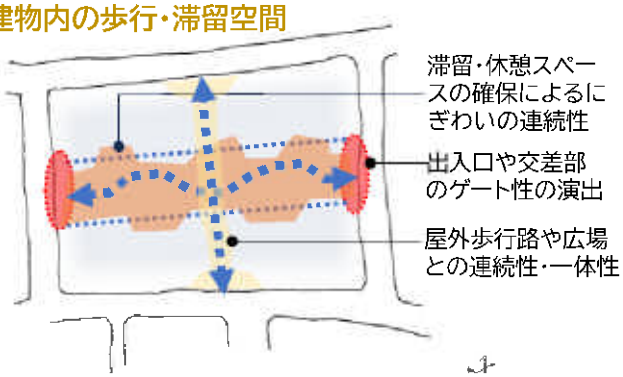
- 滞留空間を連鎖させることで、少し歩くとその先に楽しそうなものが見えてくる、という期待感が連鎖し、回遊を引き出すことにつながる
- 回遊空間にはアイキャッチとなる目標物の設置や出入口のゲート性を高めることで人を誘引する効果を高めることができる

建物間の歩行・滞留空間





建物内の歩行・滞留空間



建物に沿って中庭やテラス空間を設けることで、回遊や屋外空間での活動を促進する

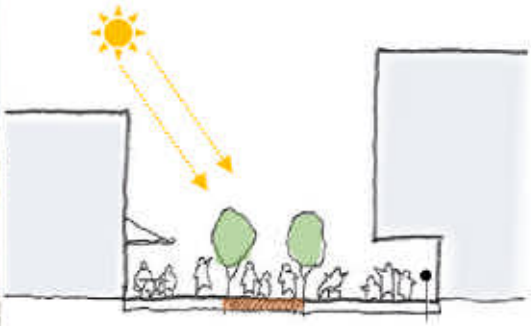
近景

一　歩いて楽しく快適な通りづくり・人を誘引する環境づくり

【手法例】

●天候に左右されない快適な歩行空間　※街区間連絡動線

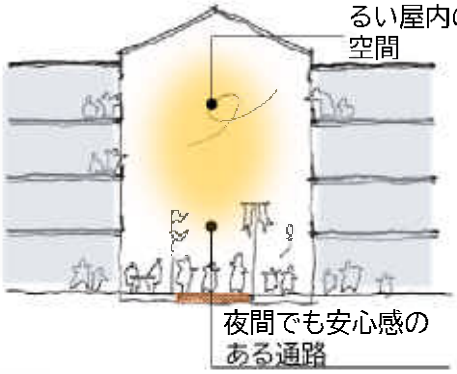
- ひさし･オーニングなどを用いて、途切れず歩き回ることができるネットワークを確保すると、天候がよくない日でも人々のまち歩きを促すことができる



天候に左右されない歩行空間

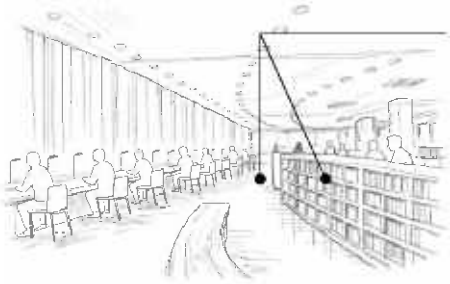
●季節を問わずに快適に歩ける建物内通路　※街区間連絡動線

- 市民や来訪者が自由に出入りできる建物内通路をつくることで、歩行者の利便性が大きく向上する



両側の室内の様子がわかる建物内貫通通路

空中回廊(アクティブリンク)



●快適な歩行ネットワークを構築する敷地内通路

- 特に大きな街区では、敷地内通路を設置し通りの接続性やネットワークを考慮することで人々の回遊が向上する

近景

ー 快適でにぎわいを生む滞留空間の創出

【ポイント】

- 休憩、待合、活動など、滞留空間の場所に応じた使い方を想定した設えに配慮します。
- 利用者が快適で居心地が良いと感じられる滞留空間の創出に配慮します。
- シーンに応じた多様な座れるスペースを用意します。
- にぎわいを生む滞留空間を積極的に整備するよう配慮します。

【手法例】

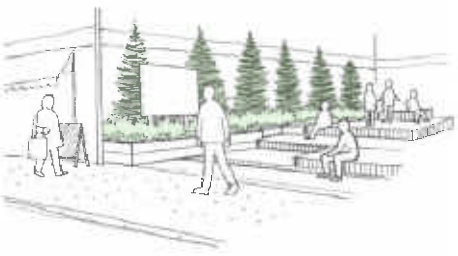
●滞留空間の利用者・使い方をイメージする

- 商業施設や公共施設の利用者の休憩、交通機関の待合、地域住民の交流や憩い、地域資源の視点場、並木や緑道付近での休憩など、滞留空間の設置位置によって使い方等をイメージし、その場に求められる滞留空間を検討する

■住宅が多く立地

【利用者と使い方の例】
・地域住民の日常的な憩いや散歩
・地域住民の交流　など

■商店が多く立地

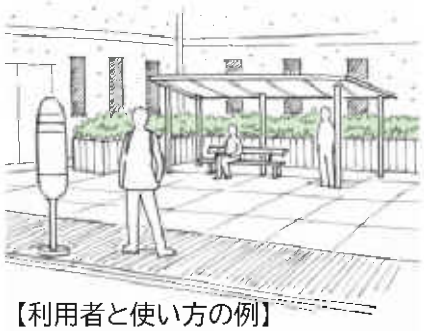


【利用者と使い方の例】
・買い物客の休憩利用
・路面店によるにぎわいの創出　など

■不特定多数が利用する公共施設が近くに立地

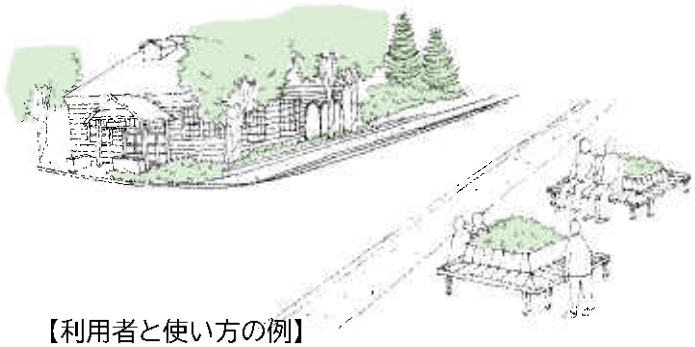
【利用者と使い方の例】
・公共施設への快適な歩行者動線の確保
（歩行空間・通り抜けを想定）
・待ち合わせスペースの確保　など

■バス停が近くに位置



【利用者と使い方の例】
・バス待合スペースの確保　など

■地域の景観資源が近接して位置

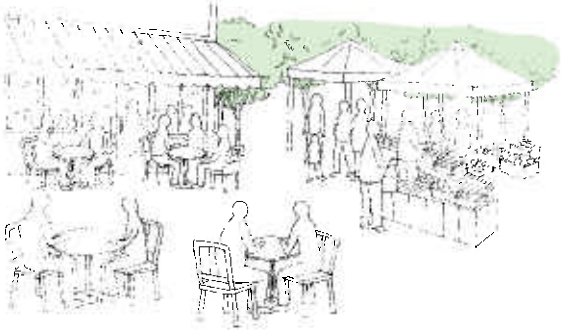


【利用者と使い方の例】
・景観資源の視点場
・景観資源と景観上調和した空間の創出　など

■並木・緑道と隣接

【利用者と使い方の例】
・並木や緑道の一体的な緑地空間の創出　など

■屋外に向けた開放的な空間と隣接



【利用者と使い方の例】
・テラス席などの屋外に向けた開放的な空間と広場空間を一体的に活用することでにぎわいを創出　など

近景

ー 快適でにぎわいを生む滞留空間の創出

【手法例】

●シーンに応じた座る場所が多く用意されている空間

可動式の椅子

スツール

背もたれのあるベンチ

縁台

植栽桝の立ち上がり

腰掛けられる段差

柵と連動したベンチ

寄りかかることのできるベンチ

●屋内の滞留空間

- 天候に左右されず快適に過ごせる屋内の滞留空間の設置を検討する。

段差や可動式テーブル椅子による滞留空間

●滞留空間へ人を誘導する仕組み

- 歩道との境界付近へ椅子を配置することで、通りすがり の人を滞留空間へ誘い込むことができる。
- 歩道付近に滞留する人がいることで、通りとしての活気が創出される。

近景

ー 安心・安全の歩行空間・街区空間づくり

【ポイント】

- 多くの人が利用し行き交う場所として、バリアフリー化や視認性の確保など、安心・安全の歩行空間や街区空間づくりに配慮します。

【手法例】

●施設出入口などのバリアフリー化を図る

- 店舗・コミュニティスペースなど人が多く行き交う施設の道路境界部は、車いすやベビーカーでもアクセスに支障がないよう、バリアフリー化を図る。
- 道路境界部は段差をなくし、一体的な空間の形成を図る。敷地条件等によりやむを得ず段差が生じる場合は、スロープ等の設置を検討する。

●滞留空間に沿った歩行空間の安全性を確保する

- 滞留空間にベンチ等を配置する場合は、安全に歩行できる幅の確保、樹木は歩行の妨げにならないよう配置し視認性を確保するなど、歩行空間の安全性を十分に検討する。

安全に歩行できる空間の確保

樹木は歩行の妨げにならないよう配置し
視認性を確保

近景

ー 真駒内らしさを表す色彩や素材の活用

【ポイント】

- 周辺の街並みや夏には緑豊かで冬には真っ白な風景が広がる自然環境との調和に配慮するとともに、街区間の調和に配慮した色彩・素材を検討します。
- 真駒内駅・オリンピックレガシー・景観資産であるエドウィン・ダン記念館などに配慮した色彩・素材を検討します。
- 札幌軟石や札幌硬石、自然素材（木材）など地域性を表現する素材を積極的に活用するよう配慮します。
- アイレベルでは、歩いて楽しいまちなみづくりに貢献する配色に配慮します。

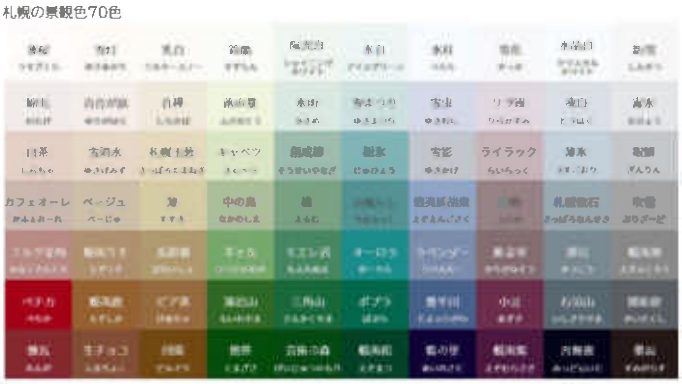
【手法例】

●素材そのものが持つ特性を活かした地域性の表現

- 南区に馴染みのある「札幌軟石」や「札幌硬石」、「自然素材（木材）」の使用で地域性を表現するとともに、素材の持つ色を活かすことを基本とし、経年変化による景観との調和効果を活用する。

●周辺の街並みや自然景観、歴史文化性に調和した建築物の外壁等の色彩誘導～札幌の景観色70色の活用

- 建築物や工作物等は、札幌の景観色70色を活用するとともに、周辺との調和（建築物、自然景観、歴史文化等）に配慮した色彩を選定する。



●周辺の街並みに調和しつつ、にぎわいや歩いて楽しくなる配色とする。

バナーやベンチなどにぎわいを感じる配色とした例

●アートやデザインを取り入れた南区・真駒内らしい景観づくりに配慮し計画する。

アイキャッチとなるアートの配置

メディアアートによる公共空間のデザイン

近景

一 光環境等の配慮

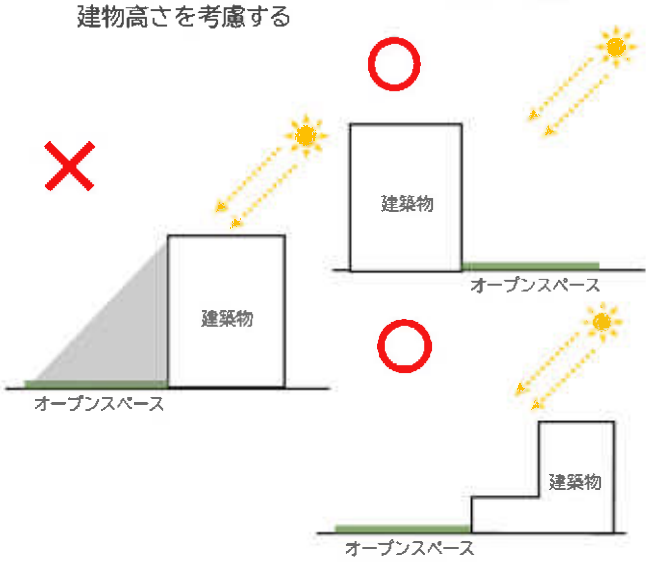
【ポイント】

- 昼と夜、四季で変化する自然の光環境に配慮します。
- エリアに適した夜間の光環境をデザインします。
- 暖かみのある光環境を基本とし、場所の特性に応じた照明により通りやエリアの演出を行います。

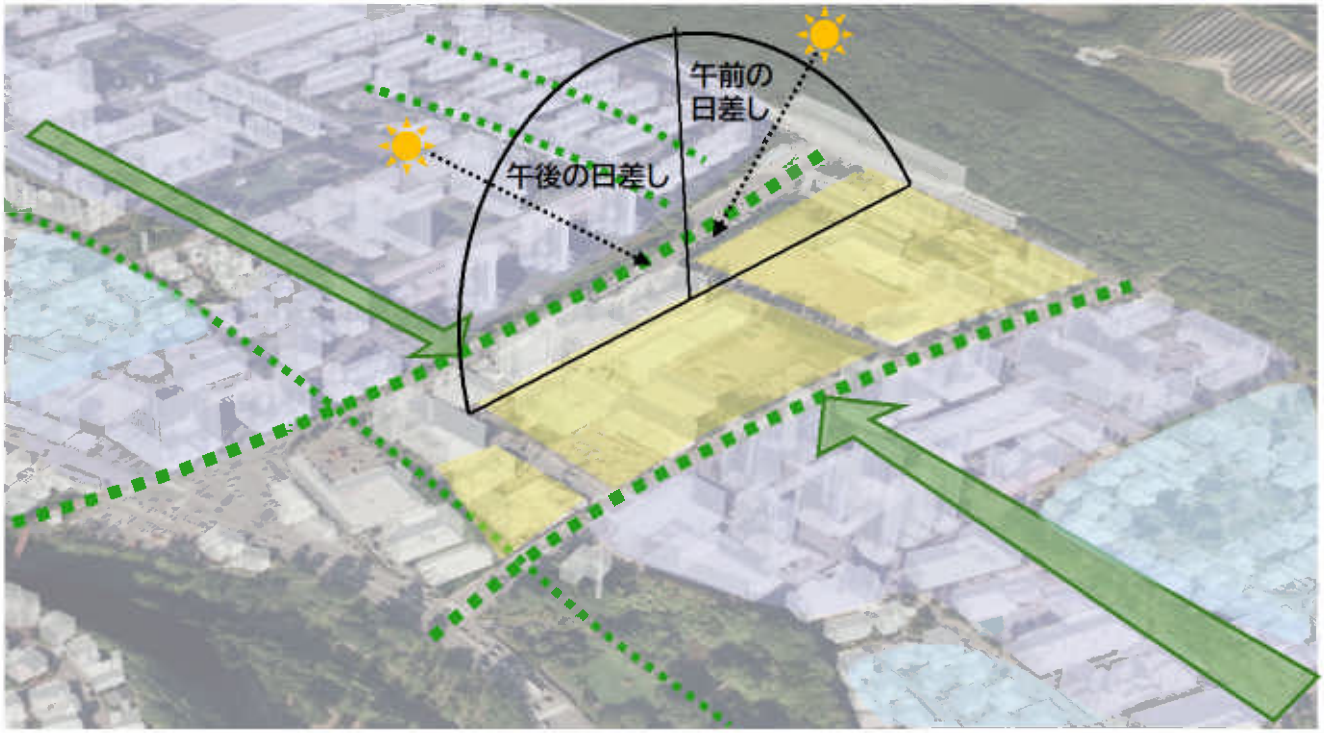
【手法例】

●自然の光環境を考慮したデザインとする

滞留空間などのオープンスペースが長時間日陰とならないようにオープンスペースの位置や周辺の建物高さを考慮する



西日など強い日差しを受ける建物壁面は、光沢のある外装を控えるなど、反射光による照り返しも考慮する



※出典：国土交通省 PLATEAUウェブサイトを加工して作成

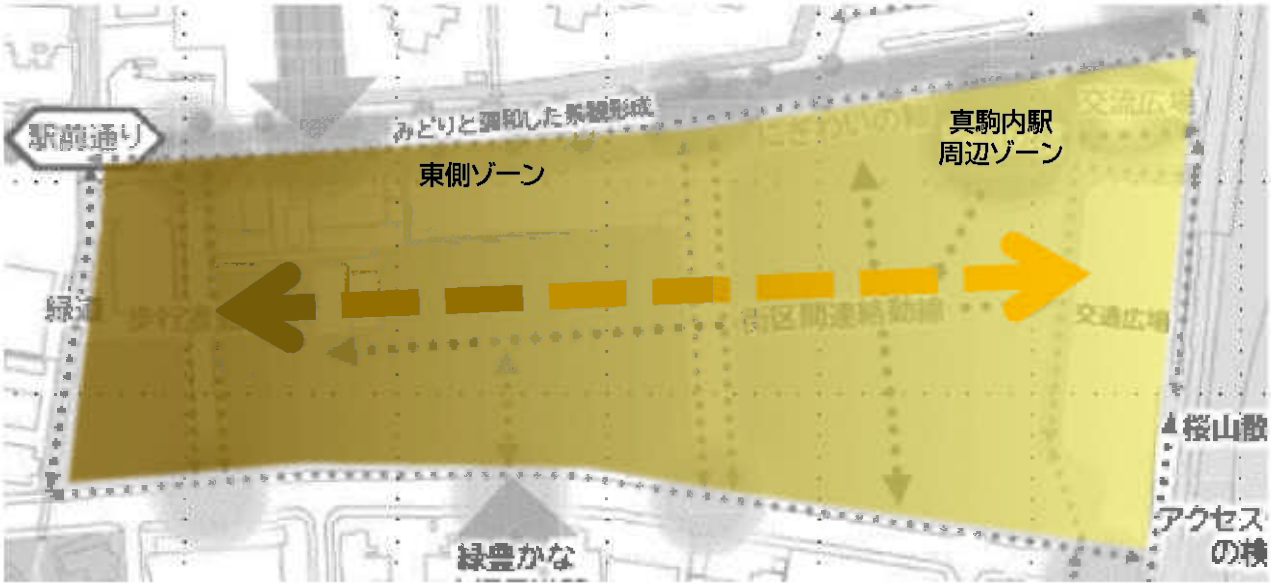
近景

一 光環境等の配慮

【手法例】

●建物用途等も考慮し、ゾーンごとに適正な夜間の光環境をデザインする

- 真駒内駅周辺は夜間でも人が行き交うゾーンであり、明かりによるにぎわいの創出や魅力ある夜間景観づくり、安全性を考慮した光環境とすることが望ましい。
- 一方で、駅から離れた東側のゾーンは、近隣の住環境に配慮しつつ、安全性や歩行の快適性を考慮した光環境とすることが望ましい。



●魅力ある夜間景観づくりを進める真駒内駅周辺ゾーンの光環境

- 交流広場に面した建物の照明はにぎわいを創出する光の演出に配慮すると共に、イルミネーションなど季節の変化を感じられるような仕掛けで魅力的な空間設計を行う。
- 白い雪の中で建築物や植栽が美しく見える照明計画やライトアップに努める。

●安全性や快適性を優先した東側ゾーンの光環境

- 光環境を適切にデザインすることで、安全性を高めるとともに、歩行のしやすさにも配慮した計画とする。

近景

ー サイン等の配慮

【ポイント】

- 真駒内の豊かな自然や落着きのある街並みの景観を阻害しない屋外広告物の設置位置、色彩、設置数、デザイン等に配慮します。

【手法例】

●広告物の大きさや設置位置、色彩などの工夫

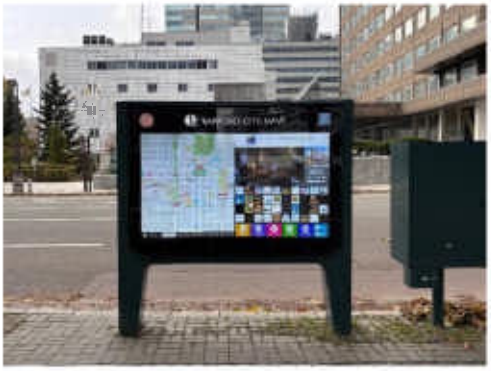
- 歩行者からの広告物としての視認性を保ちつつ、可能な限り小さな広告物とする。
- 屋外広告物の基調色は、建築物・工作物の基調色の規定を参考とし、原色は避け、街並みに配慮した配色とする。
- 広告物を設置する数量や表示面積を極力抑え、複数掲出する場合は大きさを統一し、可能な限り集約化・縮小化を図る。

●店舗と街の個性の演出

- 屋外広告物は、居住地域の落ち着きのある街並みや、真駒内駅前の商業地域の品格とにぎわいのある街並みと調和した、質の高いデザインとすることで、街の個性の演出につなげる。

●デジタルサイネージ設置時の景観への配慮事項

・時間や明るさに関する配慮（表示時間、輝度）
・設置場所等に関する配慮（設置高さ、設置向き、設置個数など）
・動きや音に関する配慮（光の動き、点滅、画面変化の速度、音量、音色）



近景

ー 工作物等の配慮

【ポイント】

- 歩行者のアイレベルを意識し、周辺環境と調和した工作物の配置、色彩、デザイン等に配慮します。

【手法例】

●落着きや憩いを感じる工作物のデザイン

- 目の届く範囲のデザインを周辺景観に調和するようなデザインとしたり、素材選びを行う。

建物と調和した塀やサインなどの工作物のデザイン

●立体駐車場や工作物などを目立たなくするデザイン

- 立体駐車場や建築設備、工作物等は、配置の工夫や修景などで周囲から目立たないように配慮し、歩行者の目の届く範囲を整える

1階部分の建築設備を植栽で目隠しした例

工作物を植栽やサインで目隠しした例